

重点目標一覧表（中間報告調書）

| | |
|-------|------------|
| 担当部局名 | 丸子地域自治センター |
|-------|------------|

【平成27年度重点目標】

| 重点目標 | 新たな住民自治システムの構築 | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
|------|--|------------------|---|---|
| 1 | <p>【地域内分権の推進】</p> <p>住民自治組織設立に向けた課題の把握・解決、地域振興策にかかる研究・検討及び支援の推進</p> <p>新たな住民自治に向けた、丸子地域内の団体相互の交流や取り組みの情報共有及び啓発活動</p> <p>住民自治組織の設立</p> | | <p>「丸子まちづくり会議準備会」を毎月開催</p> <p>先進地視察の実施</p> <p>タウンミーティングの実施や広報紙等を作成し、地域住民への情報提供を行う</p> <p>住民自治組織設立を目指す</p> | <p>4月から毎月会議を開催するとともに正副会長及び有識者による会議を開催(2回)、7月に先進地視察を実施</p> <p>・7月に独自作成の広報紙を全戸配布し、まちづくり会議準備会の取り組み内容等について住民への情報提供を実施</p> <p>・各種団体との意見交換会の開催計画の樹立</p> <p>住民への説明資料として、住民自治組織の体系図を作成</p> |
| 重点目標 | 次代に向けた丸子温泉郷の活性化 | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 2 | <p>【活性化に向けた取組】</p> <p>鹿教湯温泉100年「ランド・創造プロジェクト」の事業の具現化</p> <p>鹿月荘、クアハウスかけゆのあり方の検討</p> <p>鹿教湯・霊泉寺の活性化グループ（霊泉寺温泉JUKUプロジェクト等）の活動支援</p> <p>合併10周年記念及び真田丸放送を契機とした新商品の研究・開発支援並びに県等と連携した丸子温泉郷のPR活動の実施</p> <p>【鹿教湯温泉の地域課題解決に向けた取組】</p> <p>コンサルによる老朽化した温泉供給施設の更新計画策定に係る支援</p> <p>温泉利用に係るニーズ調査への支援</p> | | <p>公衆トイレの改修工事</p> <p>関係団体等と協議し検討推進</p> <p>イベント開催支援2回以上</p> <p>(1)新商品検討会議への参加6回以上</p> <p>(2)県外商談会等への参加2回以上</p> <p>基本設計及び財源計画等の策定協力</p> <p>アンケート調査等実施への支援</p> | <p>改修に関する意見を聞く事を目的としたワークショップを開催(30人参加)、実施設計の発注準備</p> <p>地域関係者の会議へ出席(3回)、丸子地域協議会へ年度末までの意見集約を依頼</p> <p>7/11に霊泉寺温泉でのイベント開催支援、鹿教湯温泉でのイベントは10/31開催予定</p> <p>(1)新商品検討会議等へ出席(10回)、真田丸関連の日帰りバスツアーの商品化を決定</p> <p>(2)県主催の商談会に参加(4回)、海外からの視察団受け入れを協議(4回)</p> <p>基本設計策定に必要な鹿教湯地域の上下水道管の敷設状況や市道等、道路に係る情報提供について協力</p> <p>アンケート調査実施に向け、アンケート内容の検討中</p> |
| 重点目標 | 住みやすく環境に優しいまちづくり | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 3 | <p>【公共交通活性化の推進】</p> <p>循環バスの「ラビ」化による効果の検証とさらなる利用促進</p> <p>路線バス利用促進</p> <p>【住みやすいまちづくりへの取組】</p> <p>災害時情報の収集・発信方法の強化</p> <p>市営住宅の住環境整備を推進するため、中丸子団地9棟132戸に給湯器設置・給水管整備を実施（3ヵ年計画：H27・60戸、H28・36戸、H29・36戸）</p> <p>中心市街地の東西幹線道路を整備し、歩行者の安全や避難所及び公共施設への交通の利便性の向上を図る</p> <p>排水路の整備改善により、水害に強い市街地を形成</p> <p>【環境に配慮した取組】</p> <p>陣場畜産団地跡地を含めた「陣場台地の利活用構想」素案策定</p> <p>遊休荒廃農地を活用したウイング用ぶどう圃場の拡大及び6次産業化の促進</p> <p>【可燃ごみの削減と再資源化の促進】</p> <p>雑がみ回収袋の利用促進及び丸子独自のネット回収の普及拡大</p> <p>E M菌の活用によるごみ減量法及び生ごみ堆肥化基材（ばっくん）の普及促進</p> <p>生ごみに含まれる水切り等の啓発活動</p> | | <p>検証は通年、PR活動2回以上</p> <p>年度内利用者数1.5倍(対24年度比)</p> <p>8月の防災訓練時に、自治センターからの情報発信訓練及び地域からの情報収集訓練を実施</p> <p>A～C棟60戸実施 【再掲：生活環境部】</p> <p>中丸子22号線 L=130m、四反田箱置線 L=200mの道路改良工事の促進</p> <p>洲崎川の整備促進 L=230m</p> <p>素案の策定（3月末まで）</p> <p>遊休荒廃農地解消面積1.2ha</p> <p>27年度末で、丸子地域の可燃ごみの量をH26年度比約1.1%（54トン）削減</p> | <p>・自治センターだより及びイベント開催時にPRを実施(4回)</p> <p>・循環バスについては、乗降調査の結果をもとにさらなる利用促進に向け路線等の変更を検討中</p> <p>・4/30に職員の防災無線による通信訓練を実施(23人参加)</p> <p>・自治センターからの情報発信訓練は下半期に実施予定</p> <p>実施戸数をA棟24戸に変更(財源の社会資本整備総合交付金提示額の減)、全体計画を4ヵ年計画に見直し(H28～30年度に各36戸整備)9月に実施設計、10月中に入札・契約、H28年3月に完了予定で入居者との個別説明・打合中</p> <p>中丸子22号線の補償契約が完了し、10月、11月に工事発注予定</p> <p>設計が完了し、11月に工事発注予定</p> <p>センター内検討会議(WG)での検討(2回)、6/10現地視察、7/10利活用素案の策定、10月以降に地元関係団体からの意見聴取を実施予定</p> <p>ウイング用ぶどう耕作希望者3人と現地確認等を実施</p> <p>【可燃ごみ削減状況】前年度比較(9月末時点) 2.7%(71.7t)削減</p> <p>ウイングエンドリサイクル会場で袋を配布(2回)、ネット回収普及拡大は自治センターだより12月号へ掲載予定</p> <p>有線放送・丸子テレビを利用し広報(4回)、11/28開催の消費生活展における啓発活動の実施及びセンターだより2月号に啓発記事を掲載予定</p> |
| 重点目標 | 明るく親切で満足度の高いセンターづくり | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 4 | <p>【明るく親切なセンターづくりへの取組】</p> <p>接遇向上研修会の実施</p> <p>接遇向上月間の設定</p> <p>職員接遇意識調査の実施</p> | | <p>全職員を対象とした接遇向上研修会の実施</p> <p>10月と3月に重点取組項目等を定め実施</p> <p>10月の職員接遇研修会の開催時に実施</p> | <p>公募接遇指導者研修に参加した職員を講師として、9/29に職員対象の接遇向上研修会を実施(50人参加)</p> <p>10月実施に向け9月にWeb21の掲示板による職員への周知</p> <p>6月に全職員を対象に調査(前期分)を実施(回答146人)、接遇意識点数は81.2で対前年度比0.1ポイント向上</p> |

評価基準 [] : 目標を上回る進捗 [] : 目標どおり進捗 [] : 未進捗の部分あり [x] : 全て目標未進捗

| | |
|--------|---|
| 市長指示事項 | <p>・住民自治組織の設立に向けて最大限努力すること。・合併10周年記念としてアイデアを出し、関係部局と歩調を合わせて早めに結論を出して実施すること。・真田丸関連として、丸子地域にゆかりのある資源を活かして気運が盛り上がるよう取り組むこと。・ウイナリー、6次産業化等、仕事づくり・産業化の芽を摘まないよう取り組むこと。・観光客、移住・定住者へのサービスをどう提供するか周辺地域を含めて工夫すること。</p> |
|--------|---|